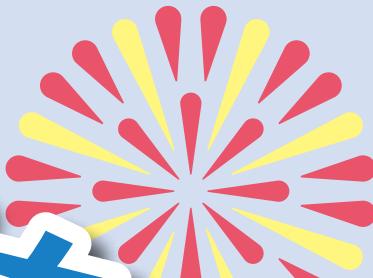


# 社協だより



第165号  
令和3年  
7月10日発行

音声訳って  
ご存じですか？



誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進します



編集・発行

社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会

<http://care-net.biz/15/sado-shakyo/>

佐渡市社協

検索



佐渡市畠野甲533番地 TEL 0259-81-1155 FAX 0259-81-1156

# \* もくじ \*



- ◆ 表紙の紹介 ..... 2ページ
- ◆ かんたんタオル体操 ..... 2ページ  
自宅で簡単にできる体操の「」紹介です。
- ◆ ボランチヤ「コーナー」 ..... 3ページ  
セカンドライフ講座と夏休みのボランティア  
体験のお知らせです。
- ◆ 災害時の連携「社協×」 ..... 4ページ  
佐渡青年会議所と佐渡市社協の理想の  
協力体制についてお伝えします。
- ◆ 令和2年度事業報告・苦情報告 ..... 6ページ
- ◆ 令和2年度決算報告 ..... 8ページ
- ◆ 役員改選の報告 ..... 9ページ
- ◆ 寄附のお礼 ..... 10ページ
- ◆ お知らせ ..... 10ページ
- ◆ みつけて応募 ..... 11ページ  
脳トレ問題にチャレンジしましょう!
- ◆ 輝く島のうし年さん ..... 12ページ  
丑年の皆さんの趣味や楽しみ、健康の秘訣を  
紹介します。
- ◆ いのマークなあにつ ..... 12ページ  
子ども向けの福祉情報です。  
今回は「身体障がい者マーク」を紹介します。
- ◆ 地域のちつとい話 ..... 12ページ  
地域で見つけた“いい話”的お話を分けます。



届いたCDを聞いている  
利用者の方の様子

(電話 : 63-5113)



音声訳とは、書籍や新聞  
などに書かれている文字  
や図表などの情報を、音声  
にして伝えたい」とです。

島内で活動している音声ボランティア団体  
「佐渡市音訳 とわの会」の皆さんば、「同じ  
地域に暮らす方々の目の代わりとなつて情報  
を伝えたい」と、「市報さど」や「社協だよ  
り」の内容を丁寧に読み上げて収録し、CD  
に焼いています。また、利用されている方は、  
「島内の活動がよく分かり、イベントなどの  
楽しい様子が伝わってくる」と、CDが届く  
ことを楽しみにされています。

CD配付の対象者は視覚障がいのある方で、  
お届けするCDの再生には専用のプレーヤー  
が必要です。詳細は佐渡市役所 社会福祉課  
障がい福祉係へお問い合わせください。

足裏にタオルをひっかけて、かか  
とを遠くへ押し出します。余裕が  
ある方はタオルを短めに持つてみて  
ください。

## かんたん! タオル体操

家でやってみて  
くれえっちゃん!



# ボランチヤコーナ

## セカンドライフ講座 受講者募集!

退職後の生活、普段の暮らしに新たな彩りを加えてみませんか？  
シニア世代の方を対象に、連続講座を開催します。ボランティア活動についてもご紹介しますので、新しいことを始めるきっかけにおススメです！

# 第1回 「セカンドライフの生活設計」



講師：ドコモ・シヨツブ佐渡店  
日時：9月10日（金）13時30分～15時00分  
会場：畠野行政サービスセンター3階大会議室  
申込み：20名（先着順）  
※新型コロナウイルスの感染状況によつては、開催を延期または中止する場合があります。



第2回 「はじめてのスマートフォン」

8月27日（金）までにボランティアセンターまたはお近くの社協各支所・地域センターへお申し込みください。  
※講師は新潟市からオンラインで参加します。

講師時場

**新潟県金融広報委員会** 金融広報アドバイザー  
9月3日（金） 13時30分～15時00分  
**畠野行政サービスセンター3階大会議室**

退職後のマネープラン

内容 おはようコールや配食サービスなどの体験・児童クラブでの宿題サポートなどの本格的

夏休み期間中に、地域福祉事業などのボランティア体験を実施します。

ボランティア体験プログラムを行います！

ボランチやコーナーに関するお問合せは  
佐渡市ボランティアセンター ☎ 81-11155

臨むのが生きがいを感じて活動されて  
いる様子が伝わってきます。一方で、活  
動者の高齢化を心配する趣もありました  
学生や若年層の次世代にボランティア活  
動に興味を持つてもらえるよう、今後も  
出前塾や体験プログラムを通じて働きか  
けていきたいと思します。

- ❖ 新しい発見があり、学びの場となっている。自身の脳トレいやリハビリとなっている。
- ❖ 自分が健康でないとボランティア活動はできないと思う。活動でき、自分が健康で社会に恩を返せるという幸福を感じる。
- ❖ 高齢者とのふれあいがとても気持ちよく、こちらが頑張つていふことを分かってくださり、協力もしてくれるので、人生は鏡だなー…というのが実感です。





“できるかも!”を増やして備える

## 社協 佐渡青年会議所

# 災害時の連携

佐渡青年会議所  
理事長 坂本 和雅氏



佐渡青年会議所の皆さん

佐渡市社協と佐渡青年会議所は、平成29年に「災害時相互協力協定」を締結し、市内で災害が起きた際には連携して被災者支援に取り組もうと約束しました。一見すると縁のなさそうなのですが、なぜ結びついたのか、この協定によって何が変わったのか、地域の皆さんにはじめのような影響があるのか…。

今回は、普段あまり地域の皆さんの中に触れる機会がない取り組みについて、お伝えしたいと思います。

地域の方々と触れ合う活動としては、地域のイベントをバルーンで盛り上げたり、少し寂しくなった商店街をシャッターアートで賑やかに飾ったり。中でも、幅広い業種で構成されていることを活かした子ども向けの職業体験は大盛況だったと聞いています。

一方で災害支援の意識も高く、日頃から被災地支援の現状や課題を学んだり、会員の多くが災害ボランティア活動に取り組んでいたりします。ですか

ら、災害発生時に災害ボランティアセンターを立ち上げる役割を持つ社協との連携は、意外なようで、「じつ自然なこととも言えるでしょう。

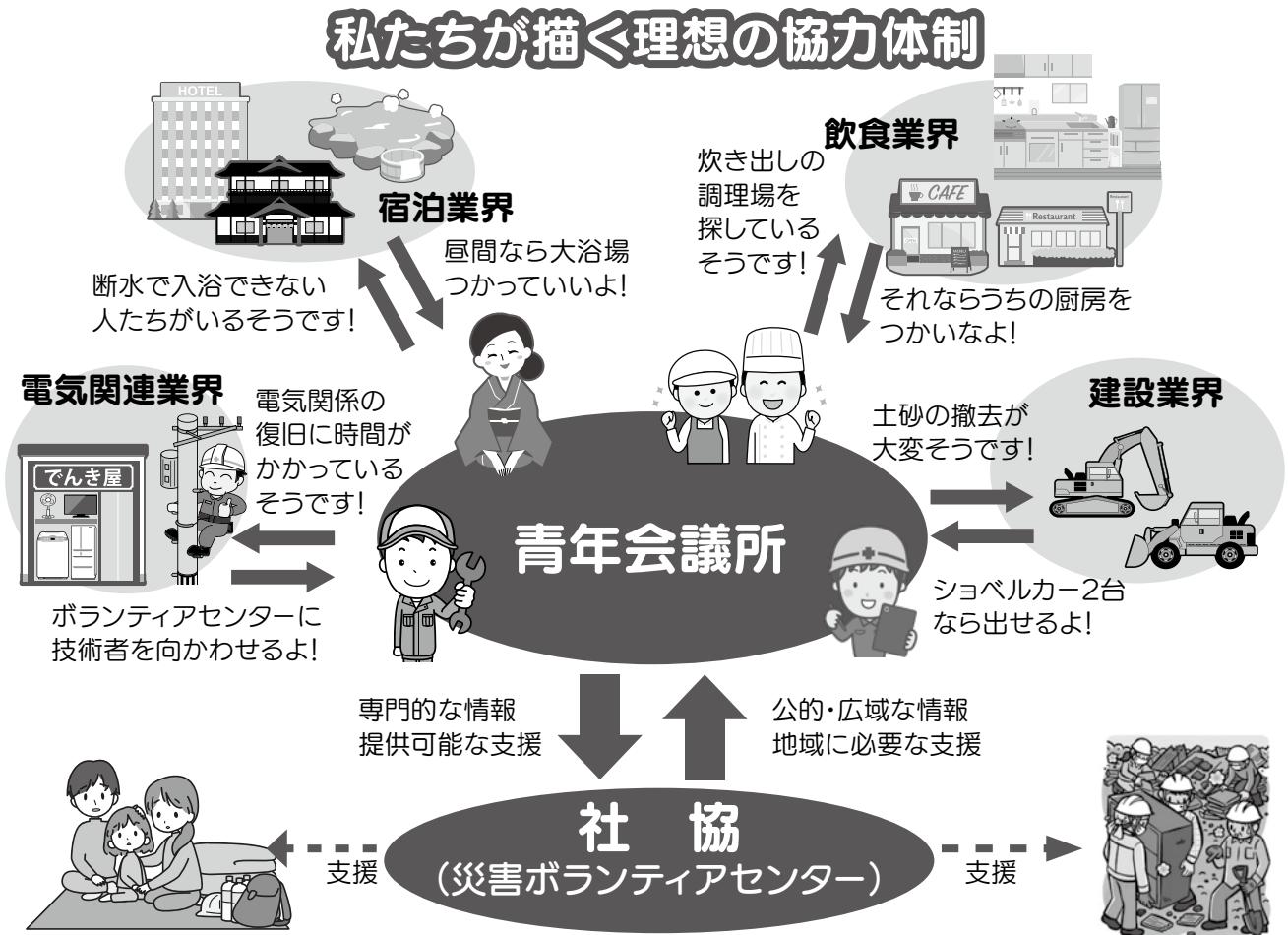
「青年会議所」という名の頭文字をとって、通称「JCC（ジェーシー）」と呼ばれています。20歳から40歳までの会員で構成されていて、大きな目的は社会貢献。全国にFIFO近い組織があり、その中のひとつが「佐渡青年会議所」です。

この動きは県内外で広がっていて、佐渡市社協と佐渡JCCの連携も自然な流れで始まりました。正直などといふお互いに何をしている団体なのかよく分からぬ状態でのスタートでしたが

が、被災地支援の義援金活動や顔合わせを兼ねた勉強会などを重ねながら、お互いの活動への理解と災害時の対応の学びを深め、協定の締結にたどり着きました。もちろん、協定を結ばなくとも協力する気持ちは大いにあります。しかし、協定によってより強い信頼関係を築けるのは確かです。



これまでの関わりを通して私たちが描いていた理想の体制を、次ページにまとめてみました。社協が持つ地域とのつながりや広域にわたる情報と、J



この強みである業種の多さやフットワークの軽さを、両者の連携によって地域の皆さんへの支援につなげることが最大の目的です。中には夢物語で終わるものもあるかも知れませんが、夢や希望は多い方がいい!その中から1つでも2つでも実現できるものが生まれてくれればと思い、明るい可能性づくりを続けています。ただ、このような取り組みが表に出るのは何か災害が起きたときになるので、できれば見えないままの方がよいのですが、いざという時に最高のパートナーとして活動できるよう、これからも準備を進めていきたいと思います。

最後に、今回の特集に向けて佐渡JCの坂本理事長からメッセージをいただきましたので、ご紹介します。

「今年の佐渡JCは“郷土愛”をテーマに掲げて活動しています。1人

ではできないことも、3人ならできるかも知れない。3人ではできないことも、10人ならできるかも知れない。そりやって、仲間と共に“自分のできる最大限のこと”にチャレンジできるのがJCの魅力です。

現メンバーは26名、そのうち8名が今年40歳となり、卒業を迎えます。たくさんの仲間がいることで叶う夢があるので、ぜひJCのメンバーになつて、一緒に“できるかもしない”に挑戦してほしいと思います。また、今回、災害時の佐渡市社協との連携について考えてみて、自分たちの想いを支援につなげる確かな手段だと改めて感じました。今後は有事のシミュレーションを行い、実際にできることの整理を進めていきたいと考えています。

現メンバーは26名、そのうち8名が今年40歳となり、卒業を迎えます。たくさんの仲間がいることで叶う夢があるので、ぜひJCのメンバーになつて、一緒に“できるかもしない”に挑戦してほしいと思います。また、今回、災害時の佐渡市社協との連携について考えてみて、自分たちの想いを支援につなげる確かな手段だと改めて感じました。今後は有事のシミュレーションを行い、実際にできることの整理を進めていきたいと考えています。

# 事業報告

## 支え合い助け合う まちづくりの推進

昨年度は新型コロナウイルスの影響を受け、例年どおりとはいきませんで

したが、感染防止対策を行い、内容を工夫して実施したものが多くありました。また、生活支援ボランティアの派遣や配食サービスなどの訪問事業の実施回数は増加し、コロナ禍において個別支援の必要性と地域の支え合いの重要性を改めて実感する一年になりました。

### 思いやりの心を育む まちづくりの推進

- ◆ 福祉教育事業の充実
  - ・ 出前塾 21回、延べ560名参加
  - ・ ボランティアスクール 2回、延べ204名参加
  - ◆ 福祉ボランティア講座 (ふくボラ講座)の実施 8回、延べ119名参加
- ◆ ボランティア等市民活動団体への支援
  - ・ ボランティアの相談、連絡調整 2回、延べ21名参加
  - ・ ボランティアセンター運営委員会 17回、延べ132名参加
  - ・ ボランティアルームの設置 5カ所 12回
  - ・ ボランティア担当者会議等 12回

- ◆ 地域福祉会への活動支援 24地区
- ・ 生活支援員登録者数 57名(実働者37名)
- ・ 生活支援員研修会 1回、7名参加

### 健やかに安心して暮らせる まちづくりの推進

- ◆ 誰もが集まる場所・機会づくり
  - ◆ 地域力強化推進事業の実施
    - ・ 地域の茶の間・いきいきサロン等 755回、延べ8,543名参加
    - ・ スタッフや参加者同士の交流会・スタッフ研修会 19回、延べ310名参加
  - ◆ 世代間交流事業の実施
    - ・ 世代間交流の推進 5回
  - ◆ 地域の人材・リーダー育成
    - ・ ボランティア活動の推進
      - ・ ボランティア登録状況 個人523名 団体187団体
    - ・ ボランティア活動保険加入受付・報告 加入者延べ2,054名
    - ・ 収集ボランティアの協力
    - ・ 障がい者福祉活動の支援
  - ◆ 地域での見守り・声かけ体制づくり
    - ・ おはよっ「ホール（お元気「ホール」）の実施 利用者123名、ボランティア54名
    - ・ コールボランティアの育成 2回、延べ15名参加
    - ・ ボランティアステーション運営委員会 2回、延べ21名参加
    - ・ ボランティアルームの設置 5カ所 17回、延べ132名参加
    - ・ ボランティア担当者会議等 12回
  - ◆ 配食サービスの実施 延べ10,952食 ボランティア66名
  - ◆ 見守り活動の推進 2338地区、協力員 559名

- ◆ 成年後見事業等の実施
  - ・ 生活支援員登録者数 57名(実働者37名)
  - ・ 生活支援員研修会 1回、7名参加
  - ・ 相談及び利用支援
    - ・ 相談件数 6,181件
    - ・ 利用支援 761件
- ◆ 市民後見推進事業の実施
  - ・ 後見16名 保佐6名、補助1名
  - ・ 成年後見制度等の普及、啓発 研修会等への職員派遣 4件
  - ・ 成年後見セミナーの開催 1回、52名参加
- ◆ 市民後見人の養成・活動支援
  - ・ 市民後見人の養成・活動支援 21名
  - ・ 市民後見人の受任状況等 隨時相談 2,042件
  - ・ 専門職相談 5件
  - ・ フォローアップ研修 4回、延べ96名
- ◆ 市民後見人養成講座の開催 10名修了
- ◆ 市民後見人受任調整会議の開催 4回、検討件数 8件
- ◆ 法人後見支援事業の実施 セミナーの開催 1回、6法人(8名)参加
- ◆ 権利擁護のネットワークづくり 関係機関連絡会議 2回、延べ10名参加
- ◆ 社協だよりの発行 6回
- ◆ ホームページの活用
- ◆ 福祉情報の提供
  - ・ チャリティー募金活動の実施 募金実績 35,614円
  - ・ 24時間テレビ 624回、延べ7,133名参加
- ◆ 権利擁護の推進
  - ・ 権利擁護のネットワークづくり 関係機関連絡会議 2回、延べ10名参加
  - ・ 法人後見支援事業の実施 セミナーの開催 1回、6法人(8名)参加
  - ・ 関係機関連絡会議 2回、延べ10名参加
- ◆ 日常生活自立支援事業の推進
  - ・ 契約者数 52名
  - ・ 問合せ・相談件数 2,823件

<b>相談・支援体制の充実</b>	
◆多機関の協働による包括的支援体制構築事業	相談件数 311件
◆相談支援包括化推進員の配置	相談件数 311件
◆地域包括支援センター・ブランチの設置	相談件数 延べ3,541件
◆地域包括支援センター	相談件数 延べ3,541件
◆相談受理件数 延べ3,541件	相談件数 延べ3,541件
◆ブランチ 相談受理件数 222件	相談件数 延べ3,541件
◆在宅介護支援センター	相談件数 延べ3,541件
◆相談受理件数 34件	相談件数 延べ3,541件
◆生活困窮者自立支援事業の推進	相談件数 延べ3,811件
◆生活困窮者自立支援事業の推進	相談件数 延べ3,811件
◆自立相談支援事業の実施	相談件数 延べ3,811件
◆支援調整会議 17回	相談件数 延べ3,811件
◆家計改善支援事業の実施	相談件数 延べ3,811件
◆プロセス作成数 31件	相談件数 延べ3,811件
◆就労準備支援事業の実施	相談件数 延べ3,811件
◆プログラム作成数 8件	相談件数 延べ3,811件

<b>介護サービス事業の経営強化と発展</b>	
◆戦没者慰靈祭の実施 2回、26名参加	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆佐渡市福祉団体活動支援事業業務	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 559名
◆老人クラブ連合会 2,511件	訪問入浴介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 1,065名
◆佐渡市老人クラブ連合会の事務・事業協力	通所介護事業所の経営 10ヶ所、実利用者数 1,383名
◆健康推進事業等への協力 26回、1,592名参加	訪問介護事業所の経営 1日平均198.7名
◆高齢者福祉大会への協力 1回、20名参加	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆佐渡市身体障がい者福祉協議会の事務・事業協力	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 1,383名
◆研修会等 3回、46名参加	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆佐渡市手をつなぐ育成会の事務・事業協力	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆友愛訪問事業 1回、111名参加	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆地区文化祭の実施協力	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆事務・事業協力	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆1回、236名参加	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆(「むしんネット」)の実施	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆派遣回数 1,893回	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆ボランティア 77名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆移送サービス事業	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆生活交通の確保と買い物支援	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆生活支援ボランティア派遣事業	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆(「むしんネット」)の実施	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆派遣回数 1,893回	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆ボランティア人材バンク一覧の発行	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆自治会活動等への支援	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆地域の防災・防犯体制づくり	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆災害救援体制の整備	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆佐渡災害ボランティアネットワーク	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆情報交換会の開催	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆15団体参加	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆災害時相互協定の更新・情報交換会	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名

<b>介護サービス事業の経営強化と発展</b>	
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問入浴介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 1,065名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆通所介護事業所の経営 10ヶ所、実利用者数 1,383名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1日平均198.7名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名
◆訪問介護事業所の経営 1ヶ所、実利用者数 57名	訪問介護事業所の絏営 11回、実利用者2名

<b>令和2年度 苦情受付報告</b>	
<b>介護保険外訪問介護事業の実施</b>	<b>その他の取り組み</b>
11回、実利用者2名	
◆契約の締結・履行・解除	◆介護保険外訪問介護事業の実施
1件	11回、実利用者2名
担当ケアマネの頻回な交代	
利用者への説明の徹底	
◆処遇の内容	◆介護保険外訪問介護事業の実施
11件	11回、実利用者2名
入浴時の衣服の交換、連絡帳の記載内容、利用日の誤り、訪問時刻の遅延、送迎時の介助方法等	
業務の流れの確認・見直し、ミーティングでの徹底、利用者への連絡・説明の徹底、利用者への配慮	
◆職員の言動	◆介護保険外訪問介護事業の実施
7件	7件
職員の名札着用、職員の言葉遣い、職員の行動等	
ミーティングでの指導、研修の実施	
◆その他	◆介護保険外訪問介護事業の実施
16件	16件
公用車の運転マナー、送迎時の運転、利用料金、共同募金、社協だよりの綴じ方向等	
職員への周知徹底、業務手順の確認・見直し、利用者等への丁寧な説明	
計	35件

# 令和2年度 決算報告

財産目録（令和3年3月31日現在）（単位：円）

資産・負債の内訳	金額
1. 資産の部	
流動資産	
現金	55,538
小口現金	900,000
預貯金	430,269,097
事業未収金	258,458,314
未収金	41,112,480
未収補助金	14,150,750
立替金	1,138,326
前払金	40,203
長期前払費用	33,920
	流動資産合計
	746,158,628
固定資産	
基本財産	
土地	250,953,780
建物	845,503,790
建物付属設備	28,148,973
定期預金	10,000,000
その他の固定資産	1,479,870,486
	基本財産合計
	1,134,606,543
	その他の固定資産
建物	117,439,406
建物付属設備	25,370,449
構築物	358,278
機械及び装置	12,213,242
車輌運搬具	10,633,704
器具及び備品	14,958,891
権利	4,457,320
ソフトウェア	50,998
退職手当積立基金預け金	773,003,458
社会福祉積立資産	80,240,197
介護サービス費事業運営積立資産	147,426,217
財政調整積立資産	86,668,191
退職手当積立資産	26,766,707
固定資産等取得支出積立資産	180,186,578
長期前払費用	96,850
	その他の固定資産合計
	1,479,870,486
	固定資産合計
	2,614,477,029
	資産合計
	3,360,635,657
2. 負債の部	
流動負債	
事業未払金	153,428,578
その他の未払金	16,198,360
預り金	48,875
職員預り金	7,736,521
前受金	18,300
仮受金	969,000
	流動負債合計
	178,399,634
固定負債	
退職給付引当金	883,268,461
	固定負債合計
	883,268,461
	負債合計
	1,061,668,095
	差引純資産
	2,298,967,562

貸借対照表（令和3年3月31日現在）

（単位：円）

資産の部	負債の部
科目名	当年度末
流動資産	746,158,628
現金	55,538
小口現金	900,000
預貯金	430,269,097
事業未収金	258,458,314
未収金	41,112,480
未収補助金	14,150,750
立替金	1,138,326
前払金	40,203
長期前払費用	33,920
	固定負債
	178,399,634
固定資産	2,614,477,029
基本財産	1,134,606,543
土地	250,953,780
建物	845,503,790
建物付属設備	28,148,973
定期預金	10,000,000
その他の固定資産	1,479,870,486
	退職給付引当金
	883,268,461
	負債合計
	1,061,668,095
	純資産の部
	基本金
	10,000,000
	国庫補助金等特別積立金
	958,124,718
	その他の積立金
	494,521,183
	次期繰越活動増減差額
	836,321,661
	純資産合計
	2,298,967,562
	負債・純資産合計
	3,360,635,657

資金取支計算書

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）（単位：円）

科目	決算
会費収入	7,866,111
寄附金収入	1,987,192
経常経費補助金収入	106,612,772
受託金収入	212,741,129
助成金収入	1,023,000
事業収入	6,022,260
負担金収入	44,733,846
介護保険事業収入	1,338,968,899
障害福祉サービス等事業収入	76,363,352
高齢者住宅事業収入	3,275,894
その他の事業収入	12,737,725
受取利息配当金収入	879,709
その他の収入	77,203,518
	事業活動収入計(1)
	1,890,415,407
人件費支出	1,518,738,911
事業費支出	166,507,550
事務費支出	151,415,172
利用者負担軽減額	333,905
助成金支出	158,519
その他の支出	730,660
	事業活動支出計(2)
	1,837,884,717
事業活動収支資金差額 (3)=(1)-(2)	52,530,690
施設整備等補助金収入	7,947,510
施設整備等収入計(4)	7,947,510
固定資産取得支出	55,944,574
施設整備等支出計(5)	55,944,574
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 47,997,064
積立資産取崩収入	136,771,104
事業区分間繰入金収入	0
拠点区分間繰入金収入	0
サービス区分間繰入金収入	0
その他の活動による収入	92,472,074
	その他の活動収入計(7)
	229,243,178
積立資産支出	179,440,824
事業区分間繰入金支出	0
拠点区分間繰入金支出	0
サービス区分間繰入金支出	0
その他の活動による支出	103,992,490
	その他の活動支出計(8)
	283,433,314
	△ 54,190,136
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 49,656,510
前期末支払資金残高(12)	617,415,504
当期末支払資金残高 (11)+(12)	567,758,994

事業活動計算書

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）（単位：円）

科目	当年度決算
会費収益	7,866,111
寄附金収益	1,987,192
経常経費補助金収益	106,612,772
助成金収益	1,023,000
受託金収益	212,741,129
事業収益	6,022,260
負担金収益	44,733,846
介護保険事業収益	1,338,968,899
障害福祉サービス等事業収益	76,363,352
高齢者住宅事業収益	3,275,894
その他の事業収益	12,737,725
その他の収益	77,096,118
	サービス活動収益計(1)
	1,889,428,298
人件費	1,524,586,238
事業費	166,507,550
事務費	151,415,172
利用者負担軽減額	333,905
助成金費用	158,519
減価償却費	85,247,801
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 56,921,540
その他の費用	730,660
	サービス活動費用計(2)
	1,872,058,305
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	17,369,993
受取利息配当金収益	879,709
その他のサービス活動外収益	107,400
	サービス活動外収益計(4)
	987,109
その他のサービス活動外費用	0
	サービス活動外費用(5)
	0
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	987,109
経常増減差額(7)=(3)+(6)	18,357,102
施設整備等補助金収益	7,947,510
固定資産受贈額	5,024,266
その他の特別収益	1,888,741,191
	特別収益計(8)
	1,901,712,967
固定資産売却損・処分損	3,429,024
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△ 3,428,992
国庫補助金等特別積立金積立額	8,441,190
その他の特別損失	1,895,796,227
	特別費用計(9)
	1,904,237,449
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 2,524,482
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	15,832,620
前期繰越活動増減差額(12)	864,311,111
当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	880,143,731
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	128,297,754
その他の積立金積立額(16)	172,119,824
次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	836,321,661

# ◆新体制のご紹介です！

任期満了に伴い、理事、監事および評議員の改選が行われました。新体制で地域福祉のさらなる向上に努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

**理事**（任期 令和5年度定時評議員会終結の時まで）

会長	氏名	選出区分
副会長	和田 幸雄	学識経験者
副会長	浅井 一弘	地域の福祉関係者
副会長	本間 道子	地域の福祉関係者
常務理事	塚本 寿一	地域の福祉関係者
理事	東后 昭一	地域の福祉関係者
理事	近藤 信子	地域の福祉関係者
理事	小田 純一	地域の福祉関係者
理事	中野千枝子	地域の福祉関係者
理事	菊池 基	地域の福祉関係者
理事	川口 浩	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者
理事	本間 一生	ボランティア活動を行う団体の役職員
理事	本間 英子	学識経験者

**監事**

（任期 令和5年度定時評議員会終結の時まで）

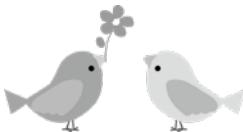
氏名	選出区分
川上 達也	財務管理について識見を有する者

**評議員**（任期 令和7年度定時評議員会終結の時まで）

氏名	選出区分
塚本 明人	地域代表（両津）
本間 満	地域代表（相川）
古林 文子	地域代表（佐和田）
天池ミチ工	地域代表（金井）
後藤 正夫	地域代表（新穂）
今井 洋子	地域代表（畠野）
羽生 满枝	地域代表（眞野）
清水 英次	地域代表（小木）
堅野富士雄	地域代表（羽茂）
渡邊 鉄男	地域代表（赤泊）
山本 初子	（佐渡市公民館）

よろしくお願い  
いたします





# あたたかいご寄付をありがとうございます

令和3年4月16日～6月15日(順不同)

さわかい いない 様	.....	箱ティッシュ5箱×12パック
坂 一宏 様(加茂歌代)	.....	30,000円
故 山岡 吾朗 様	.....	紙パンツ2袋、尿取りパッド1袋、他
岩首福祉会 様	.....	タオル97枚、半タオル5枚、箱ティッシュ17箱
故 中川 ミチエ 様	.....	紙パンツ3袋、尿取りパッド3袋
匿 名	.....	紙オムツ4袋
匿 名	.....	1,000円
匿 名	.....	紙オムツ1袋、尿取りパッド1袋
匿 名	.....	紙オムツ、他
匿 名(梅津)	.....	1,000,000円
匿 名	.....	50,000円
匿 名	.....	タオル25枚



**赤い羽根共同募金配分金事業  
福祉つながりセット配付事業  
はじめります**



地域と社協がつながるきっかけづくりのひとつとして、新しい事業に取り組みます。

- ◆対象者：80歳以上の一人暮らしの方
- ◆内 容：年2回、対象者全員のご自宅を訪問し、「福祉つながりセット」をお届けします。

**<セットの内容(例)>**



**夏季：**飲料水・塩あめなど  
(熱中症予防の注意喚起)

**冬季：**マスク、カイロなど  
(感染症予防、フレイル予防の注意喚起)

お伺いするのは地域の民生委員や社協の職員です。暮らしの様子などについて、ぜひお聞かせください。

\*給食サービスは令和2年度をもって終了しました。

## お知らせ

### 社協ケアプランセンターなごみの移転について

業務の効率を上げ、サービスの質の向上を図るために、社協ケアプランセンターなごみの事務所を移転しました。

<移転日> 令和3年7月1日(木)

<移転先>

住所 佐渡市河原田本町394番地

(佐渡市役所佐和田行政サービスセンター内)

電話 番号 58-7135

FAX 番号 57-8151

移転に伴うケアマネジャーの変更等はございませんのでご安心ください。また、金井地域センターと金井デイサービスセンターしゃくなげの里については、これまでどおりです。





イラストボランティア 菊池 敏さん（小木）

やあみよう!

# みつけ応募！

上のイラストには、ちがいが5か所あります。

イラストをよく見直して、ちがいのあるところを

アルファベットでお答えください。

A	B	C	D
E	F	G	H
I	J	K	L
M	N	O	P

## 【応募方法】

ハガキに問題の答えその他、必要事項を記入のうえ、左記宛先までお寄せください。

また、ホームページのお問合せフォームからも応募いただけます。ハガキ同様に必要事項を入力し、送信してください。

**締切…8月6日（金）必着**

\*ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、景品の発送にのみ使用させていただきます。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

\*ご記入いただいた質問や感想を紙面やホームページに掲載させていただく場合があります。了承くださいますようお願いします。



## 【前回の答え】

164号の答えは

「運動会」でした。

ご応募くださった皆さま、ありがとうございました。

宛先	〒952-0206 佐渡市畠野甲533番地 佐渡市社会福祉協議会 社協だより担当者 行
記載内容	・問題の答え・氏名（ふりがな） ・住所・電話番号・年齢 ・社協だよりへのご意見・ご要望など

# 輝く島のうし年さん

★丑年の皆さんのお楽しみや健康の秘訣を教えます★

★自薦・他薦を問わず、元気な丑年の方を募集中しています。応募が集中した場合はご期待に添えないこともありますのでご了承くださいますようお願いします。

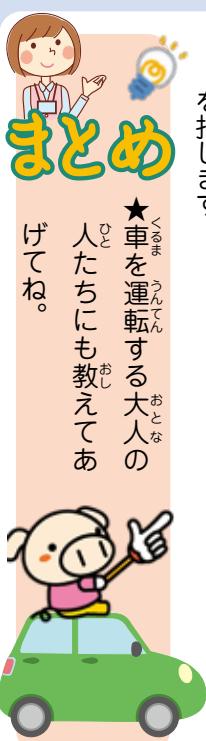


石川 忠さん 真野地区

10年前から短歌を詠み、新潟日報へ投稿しています。海と山の見えるこの地で季節や人を思い、気持ちに添う歌ができる時は嬉しいものです。食事は栄養バランスを考えて好き嫌いなく食べるようにながらも、起きたことを柔軟に受け入れ、犬の散歩が日課です。老い先を思ひながらも、なるようにして過ごすことも、健康で過ごせる秘訣ではないでしょうか。

岩崎 良枝さん 相川地区

昭和24年生まれ  
早寝早起きをし、家の前に広がる畑で野菜作りに励んでいます。今年は白い茄子を収穫してみたいと思っています。また、1日1回は机に向かうことにしていて、もう20数年、日記と家計簿を欠かさずつけています。介護予防教室にも出かけ、半分しかできなくても先生に励まされながら、自分の体のためと思い楽しく参加しています。



★車を運転する大人の  
人たちにも教えてあ  
げてね。

まとめ  
から声をかけて、お手伝いしましちゃね。  
※肢体(じたい)とは、四肢(しよし)の麻痺(まひ)や欠損(けっそん)などによつて、日常の動作(どうさ)や姿勢(しせい)を保つことに不自由(ふじゆう)がある」と指さ



青地の田の中に白い四つ葉のクローバーが描かれているこのマークは、見た目から「四つ葉マーク」や「クローバーマーク」と呼ばれています。自動車の前後に貼ることで肢体不自由の方が運転していることを示します。

今回は身体障がい者マークを紹介するよ。

子ども向け企画



## 地域のちっといい話



コロナ禍の中、ある集落の婦人部が「地域の様子を知らせたい」と作り始めた「がやがや講だより」。亡くなられた方の思い出や、ケガをした子どもに上級生が手当てをした話などが手書きで載っています。地域ならではの心温まるお便りです。